

村田一中

豊年の願い込め練り歩き



これがイチオシ

収穫した梅の実 給食に

村田第一中学校の校地内には梅の木が植えてあり、毎年、生徒たちが自主的に参加して収穫しています。

今年は、校舎に隣接する道路工事で木が伐採され、本数が減りましたが、収穫への影響が心配されましたが、6月中旬の蒸し暑い中、たくさん採ることができました。

実は「梅の実ゼリー」や「鶏肉の梅みそがけ」として給食に出ています。自分たちが収穫した梅が給食に出てくるとうれしいです。恒例行事として梅の実採りを続けていきます。

学校名 村田町立村田第一中学校
所在地 村田町村田七小路92
創立 1947年
電話 0224(83)2104
校長 小原 彰
生徒 167人

村田第一中学校では毎年、全校生徒が「布袋まつり」に参加しています。豊年の願いが込められた、村田町の秋の風物詩、歴史ある伝統的な行事です。今年も「村田第一中学校創作山車」とともに、町内を華やかに練り歩きました。

総合的な学習の時間の一つのテーマである「伝統芸能継承活動」として、太鼓、笛や踊りの練習と山車の装飾を分担しながら毎日行いました。太鼓をたたくタイミング、笛の吹き方、踊り前後の間隔や掛け声など、準備や練習から学んだことを生かし、1、2年生には来年度もさらに良いまつりにしてほしいです。受け継がれてきた私たちの伝統、町の伝統をこれからもずっと大切にしていきたいです。

全校生徒で参加する「布袋まつり」。創作山車を引いて町内を巡る(右上下)、笛と踊りを披露(左上下)



編集委員 加島有彩、内海理人、鈴木叶音、大沼結衣 (3年)
指導教員 山岸良太

布袋まつりに全校参加

わが校わがまち スクール通信



今回は 山下一小 (山元町) 向洋中 (七ヶ浜町)

震災に学ぶ助け合い精神

太白小



これがイチオシ

愛されるたいはくくん

太白小学校の近くには、太白山があります。高さ321mで、きれいな三角形の姿が特徴です。春と夏は青々とした緑、秋には赤、黄色などの色鮮やかな紅葉を見ることができます。

太白小には、この太白山をモチーフにしたマスコットキャラクター「たいはくくん」がいます。まるっとしたフォルムがかわいらしいです。学校行事の景品のデザインに使われたり、運動会の先生方のTシャツのデザインに使われたり、さまざまな場面で登場し、みんなに愛されています。

学校名 仙台市立太白小学校
所在地 仙台市太白区太白1の5の1
創立 1978年
電話 022(245)8944
校長 阿部 英徳
児童 163人

防災意識を高める活動

太白小学校は防災教育に一生懸命取り組んでいます。年に1度、自校給食を生かした防災給食が出来ます。配膳時に皿をラップで覆ったり、食材を皿の代わりに袋へ入れたりすることを通して災害時の節水の工夫について学んでいます。5年生は毎年、震災遺構荒浜小学校を見学に行き、津波の恐ろしさについて学習します。6年生は昨年度、石巻市の震災遺構門脇小学校にも行き津波火災による被害について学びました。門脇小では、段ボール



編集委員 川上杏朱、川口桃花、川村陽葵 (6年)
指導教員 長田聖志